

## 問1（憲法）

司法書士会は、司法書士法によって一定の地域ごとに設立することが定められ、会員の品位を保持し、その業務の改善進歩を図るため、会員の指導及び連絡に関する事務を行うことを目的としている。司法書士の資格をもつ者が司法書士として活動するには、司法書士会への登録が義務付けられている。

A県司法書士会では、隣接するB県の司法書士が、大雨による洪水で甚大な被害を受け業務に支障を来していることから、B県司法書士会に対し復興支援のための寄附を行うこととし、寄附の原資として、A県司法書士会に属する司法書士から、数年間にわたり特別会費を徴収する決議を総会で行った。復興支援のための寄附の総額は、A県司法書士会の年間予算額の3分の1ほどの金額であった。これに対して、A県司法書士会の一部の会員からは、寄附の強制は許されず、決議は無効であるとの批判の声があがっている。

この事例に含まれる憲法上の問題点を取り上げ、論ぜよ。

## 問2 (行政法)

次の設例を読み、以下の設問①～③に答えよ。

(設例)

Xは、Y県内において、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」(以下、「法」とする。)の規制対象となる事業(個室付き浴場業)を営んでいたところ、売春防止法違反の公訴事実により有罪判決を受け、さらに法第30条第2項に基づく営業廃止命令(以下、「本件処分」とする。)を受けたため、本件処分の取消訴訟を提起した。その際、取消原因となる違法理由として、次のような主張を行った。

「本件処分に先立ちY県公安委員会が行ったヒアリング(意見聴取)を担当したY県警察本部のA総務課長は、かつて本件刑事事件の捜査責任者(B警察署の長)だった人物であり、しかも、その当時、捜査結果に基づいて、Y県公安委員会に対し本件処分をすべき旨の上申まで行った経緯があることから、本件処分には、重大な手続上の瑕疵がある。」

### 設問①

本件処分に先立って行われた意見聴取は、行政手続法の定めに基づくものであるが、(a)同法が意見聴取を義務付けている行政活動の種類、(b)当該意見聴取手続の名称、(c)当該手続の担当者(運営を司る者)の総称は何か、答えよ。

### 設問②

行政手続法第19条は、本件のような意見聴取手続の担当者について、選任手続及び除斥事由(欠格事由)を定めている(下記の【参考】を参照。)(a)この選任手続における選任主体、主な選任対象者及び選任方式について簡単に説明し、(b)選任に当たって同法が除斥事由を定めている趣旨・目的を簡潔に述べよ。

### 設問③

本件のような「手続上の瑕疵」のみをもって本件処分の取消事由とするXの主張について、是非を論ぜよ。ただし、まず、肯定的な見解をとった場合の理由づけを示し、その見解に対する賛否を明らかにするという形で答えること。

**【参考】** 行政手続法第19条第2項に列記されている除斥事由(担当者になれない者)の主な例:当事者・参加人、親族関係にある者、法定代理人、後見人、その他の(利害)関係人

**問3**（政治学）

多元主義論には、D. トルーマンらの集団理論に基づくものと、R. ダールが『統治するのはだれか』で明らかにしたものがあつる。両者の多元主義論の違いについて説明し、いずれかの多元主義論を用いて現代日本政治を解説せよ。

#### 問4（経済学）

企業の利潤最大化行動に関する以下の設問①～③に答えよ。なお、短期費用曲線は逆S字型であるとする。

##### 設問①

短期平均費用（SAC）、平均可変費用（AVC）、短期限界費用（SMC）と生産量の関係をグラフを用いて説明せよ。また、このとき、供給曲線がどのようなになるかも説明せよ。

##### 設問②

いま、この産業の製品に税金を課すとどうなるかを考える。税金を(a)生産量にかかわらず一定額の定額税を企業に課す場合と、(b)生産量に応じて税金の額が増加する従量税を課す場合について、企業の行動がどうなるかをグラフを用いて説明せよ。

##### 設問③

長期費用曲線を考える。長期平均費用（LAC）、短期平均費用（SAC）、長期限界費用（LMC）、短期限界費用（SMC）が生産量とどのような関係にあるかをグラフを用いて説明せよ。その際に、(a)長期費用曲線が逆S字型をしている場合、(b)生産関数が規模に関して収穫一定の場合に分けて説明すること。